

# よしおか クイズ No. 102

- 問1 12月定例会は何日に開会したでしょう。  
 A. 12月3日 B. 12月5日 C. 12月6日
- 問2 一般質問は何人が行ったでしょう。  
 A. 5人 B. 6人 C. 7人
- 問3 第3回臨時会の議案は何件だったでしょう。  
 A. 1件 B. 2件 C. 3件

## [応募方法]

- ★はがきに答えの記号（例1-A）、住所、氏名、年齢、職業（学校名）を書いてください。
- ★正解者の中から抽選で5人の方に、図書カードをプレゼントします。
- ★はがきの余白にご意見やご要望、イラストなど書いていただければ「お便りコーナー」で紹介します。
- ★あて先  
 〒370-3692  
 吉岡町大字下野田 560 番地 役場議会事務局
- ★締め切り 3月1日（当日消印有効）

前回の正解は1-B. 2-C. 3-Aでした。  
 応募者の中から、抽選の結果次の方に図書カードを贈ります。（敬称略）

- ・大林 俊弘（上野田） ・皆川 ナヲ（上野田）
- ・斉藤 朋子（南下） ・関上 沙絵（大久保）
- ・浜田 宏司（大久保）

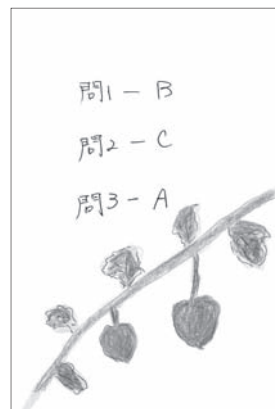
## 共に研修 ～視察の受入～

県内外から吉岡町議会へ視察に訪れました。

とき	訪れた町村	視察内容
10月8日	石川県川北町議会	議会だよりの編集について



ありがとうございます



福田 美代子(大久保)



高嶋 俊輔(漆原)

## 私もひとこと

家族や応援の音が響く歴史と運動の公園となれば、多くの町民の心が幸せに満たされる場になるのではないでしょう

町民の英知を集め、健康で住みやすく、子どもたちの豊かな心の成長の場となることを確信します。

早朝出勤前の人や、午前老人センター利用者の散歩やグラウンドゴルフに、午後はヤマダ女子陸上選手や中学生が部活に、夜社会人が汗を流し、週末

八幡山公園整備拡張が、町内各界の皆さまの理解と協力のもと進められ、深く感謝しています。

私が子どもの頃、吉岡は純農村で、雨が降れば遊び場にも困るようでした。

先輩たちは少ない財源をやりくりし、一つ一つ作り上げたのが、若人や子どもの声が響いて止まない今の吉岡です。



大井 俊一さん  
(北下)

皆で集える八幡山公園

# ふるさと再発見⑪

## 「無幻さんからの贈り物！《二百年の歳月を経て》」

夏祭りの大久保上町の屋台の組立中に、「のぼり旗」が見つかりました。

この「のぼり旗」には「神為徳其盛乎矣」「文化五年」「光旒書」と書かれています。「文化五年」は1808年で、徳川家斉が将軍の頃です。「神為徳其盛乎矣」（神の徳たるや それ盛んなるかな）とは、儒教経典の中の文章の一部を引用したのではないのでしょうか。この偉大なる大地の生命を感じ、心を浄め身を潔めなさいと訳してはいかがでしょう。最後に「光旒書」ですが、下野田の華蔵寺7世狩野亮観の次男として生まれた「光旒」のことで、光旒は16歳のときに赤城村津久田の林徳寺の角田広観の養子となりました。号は「無幻道人」です。

渋川市のホームページに「書に親しんだ無幻は、上州に来遊した江戸の書家であり儒学者の東江源麟に入門、書法に励んだ。寛政4年上洛後、たまたま書き与



えた商家の看板が庭田大納言の目にとまり、大納言のすすめにより光格天皇に千字文を奉呈した。以後、無幻の書名は洛中に広まった」とあります。のちに勅伝大阿闍梨法印を授けられた書聖（書の神様）といわれた人です。

県内では赤城の鳥居の文字のほか、60以上の石碑に碑文が残っています。

「無幻道人」が書いたのぼり旗が、200年の歳月を経て眠りから覚めたとしたら、何と夢をかきたてられることでしょう。

吉岡町郷土かるたの『④華蔵寺の百庚申は百字百様』が無幻さんの札だったことをご存じでしたか。

旗は、教育委員会で保管し調査中です。

※「艸書千字文」は早稲田大学図書館で所蔵。

（寺上自治会だより11月号より転載）

### 編集後記

あけましておめでとうございます。  
「よしおか議会だより」は、町民の皆さまに楽しく興味を持って読んでいただけるように、今年も委員一同、誠心誠意編集に努めてまいります。

安倍政権が発足し1年、景気の上向きが報道されていますが、回復感はまだ一歩、むしろ増税の報道で一抹の不安も残る思いです。

新年度よりまちの事業も、スマートフォンなどの大型車乗り入れや南下城山防災公園の建設、八幡山公園グラウンド拡張事業など大型事業が計画されています。

町民皆さまにわかりやすく丁寧な編集に心がけてまいります。ご意見をお待ちしております。

（馬場周二）

### 編集委員

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 石倉 實  |
| 副委員長 | 飯島 衛  |
| 委員   | 馬場 周二 |
|      | 栗田 俊彦 |
|      | 山畑 祐男 |
|      | 平形 薫  |
|      | 金谷 重男 |